

「ただいま」

じいちゃんと とうちゃんが かえってきた。
「きょうは あめが つよく なりそうだから
はやく おわらせてきたよ」

ふたりとも よごれて だろんこだ。
いつも なに しているのかな？

📖 読み聞かせる方へ

「草木塔」は、自然の厳しさを畏れ、山仕事の安全を願い、山の恵みに感謝する人々の心を表すために建てられたものです。

山形では、草木塔に代表されるような「自然に感謝する心」という素晴らしい文化が祖先から受け継がれてきました。



□ 読み聞かせる方へ

山形には、山寺立石寺や羽黒山五重塔など、歴史ある木造の建物が数多くあります。

家具や仏壇、しな織、笹野一刀彫、伝統こけし、将棋駒、けん玉などの様々な生活用品、伝統工芸品、玩具の材料にも木が使われてきました。皆さんも身の回りの木製品の手触り、香り、温かさなどを改めて感じてみてください。

「もりの しごとを しているんだよ」
じいちゃんが いった。
「どんな しごと？」
「うん そうだなあ・・・」




「はじめは やまに こどものきを
うるんだ。

おまえの とうちゃんが うまれたころも
たくさん うえたんだよ」

📖 読み聞かせる方へ

森は、木材の生産のほか、洪水の防止や
湧水の緩和（水源かん養）、山崩れの防止、
二酸化炭素の吸収、レクリエーションや環
境教育の場、生きものすみの住処など、私たち
の暮らしに役立つ働きをもっています。





「うえた あと そのままに しておくと、
まわりに どんどん くさが はえて、
こどものきより おおしく なって
たいせつな おひさまの ひかりを
みんな とっちゃうんだ。

だから せっせと くさを かるんだよ。
こどものきが もうすこし おおしく なるまでね」

☐ 読み聞かせる方へ

木を大きく育てるには、下草刈りやつる切り、間伐などの保育作業(手入れ)が必要です。子どもと同じ様に大事に育てます。

また、落ち葉や枯れ枝は地面に積み重なり、スポンジのようなすき間がたくさんできます。そこに降った雨が少しずつしみこみ、川や地下水の量を一定に保ちます。このように森は、洪水の防止や濁水を緩和する働きがあるため、「緑のダム」といわれています。

「きが おおきくなって、おたがいの はっぱで おひさまが
あたらなくなってきたら なんぼんか きを きるんだ。
そうして のびのびと じょうぶな きを そだてて
もりを げんきにすると やまくずれも こうずいも
とめてくれるんだ」



📖 読み聞かせる方へ

木と木の間に混みあってきた森は、光が入らないため、木が十分に成長できなくなり、下草もなくなります。そのため、木を間引いて、森に光を入れる作業（間伐）は大切です。この作業により、成長し大きくなった木の根は、土や石をしっかりと抱きかかえて、雨による山崩れを起りにくくして、土砂が流れ出るのを防いでくれます。